

# 令和2年 県内建設業死亡災害発生状況(8月末現在) No.1

建設業労働災害防止協会静岡県支部

| No | 管轄 | 発生月<br>発生時刻   | 業 種   | 労働<br>者数   | 事故の型                   |   | 性別<br>年齢    | 発 生 状 況  |
|----|----|---------------|-------|------------|------------------------|---|-------------|--|
|    |    |               |       |            | 起                      | 因 |             |  |
| 1  | 島田 | 1月<br>7時～8時   | 土木工事業 | ～10人       | 飛来、落下<br>木材・竹材         |   | 不明<br>50～59 | 橋脚の橋頭部分(地上約20m)に足場を設置し、型枠を設置する作業において、型枠の位置合わせのため、クレーンで型枠(重量約700kg)を作業床から約2m吊り上げ、荷の下で2名が支障となる突起物の位置直しを行っていたところ、玉掛けされていた箇所が破損し、型枠本体が労働者2名の上に落下したものの(1名死亡、1名休業)。                            |
| 2  | 島田 | 1月<br>7時～8時   | 建築工事業 | ～10人       | 交通事故(道路)<br>乗用車・バス・バイク |   | 不明<br>50～59 | 作業現場へ向かうため、代表者が運転する軽トラックに2名乗車で走行中、凍結箇所でスリップし路肩に停車したところ、後続の2台目車両が追突し、後続車両は中央線を越え、道をふさいで停車した。このため、被災者が2台目の車両の前へ行き、後続車に手を振り注意喚起していたが、3台目の後続車も手前でスリップし、被災者側に向かって滑ってきてため、3台目の車両と土留め壁に挟まれ死亡した。 |
| 3  | 浜松 | 4月<br>9時～10時  | 土木工事業 | 10～<br>29人 | 崩壊・倒壊<br>地山・岩石         |   | 男<br>62     | 下水道管を埋設する工事。950mm(幅)×4000mm(奥行)×1700mm(深さ)をドラグショベルで掘削した箇所、作業員2名が土止め支保工の腹起し部材を取り付ける作業をしていたところ、背後の地山が500mm(幅)×4000mm(奥行)×1700mm(深さ)に亘って崩壊し、1名が崩壊した土砂と腹起し部材との間に挟まれて死亡した。                    |
| 4  | 沼津 | 6月<br>13時～14時 | 土木工事業 | ～10人       | その他<br>その他の環境等         |   | 男<br>不明     | 被災者が法面で下刈り作業中、手の甲を峰に刺されたもの。被災者は峰に刺された後、しばらく様子を見ていたが、ショック状態になり意識を喪失。病院に搬送されたが、同日中に死亡が確認された。なお、被災者は、1か月前にも刺されていたと同僚に話していた。   |
| 5  | 島田 | 6月<br>22時～23時 | 土木工事業 | 10～<br>29人 | 交通事故(道路)<br>乗用車・バス・バイク |   | 不明<br>不明    | 国道上に発生した落石(40cm×40cm)を除去するため、被災労働者が軽トラックにて単独で現場へと向かい、落石を路肩へ撤去した後、通行車両に注意を促すためにカラコーンを配置していたところ、普通自動車に追突されて被災。頭部を負傷し、11日後に死亡した。  |

※静岡県労働局で公開されない事故発生日・性別年齢は、支部が独自に確認したものです。